



撓まず 屈せず がんばろう 釜石！

片岸地区

発行：平成 27 年 4 月
発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

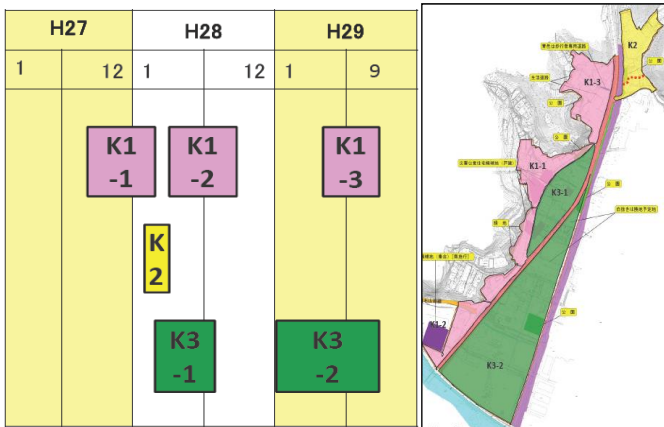
片岸地区における復興事業のうち、①工事進捗状況及びスケジュール、②復興公営住宅、③宅地整備基準（案）、④公開試験盛土の開催、⑤産業道路整備事業及び雨水排水整備事業、⑥JR 東日本との協議箇所、⑦片岸海岸防潮堤及び鶴住居川水門について、⑧吉里吉里釜石線について説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。



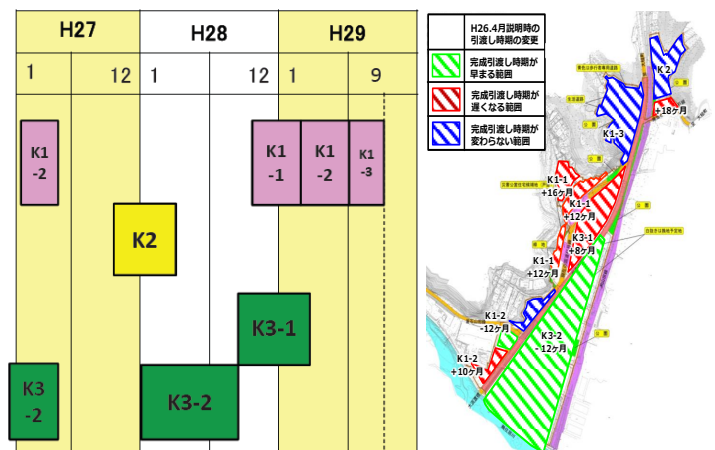
開催概要
開催日：平成 27 年 3 月 4 日（水） 時間：18：30～20：00
場所：市役所第 4 庁舎 3 階第 7 会議室 参加人数：17 人

工事進捗状況及びスケジュールについて

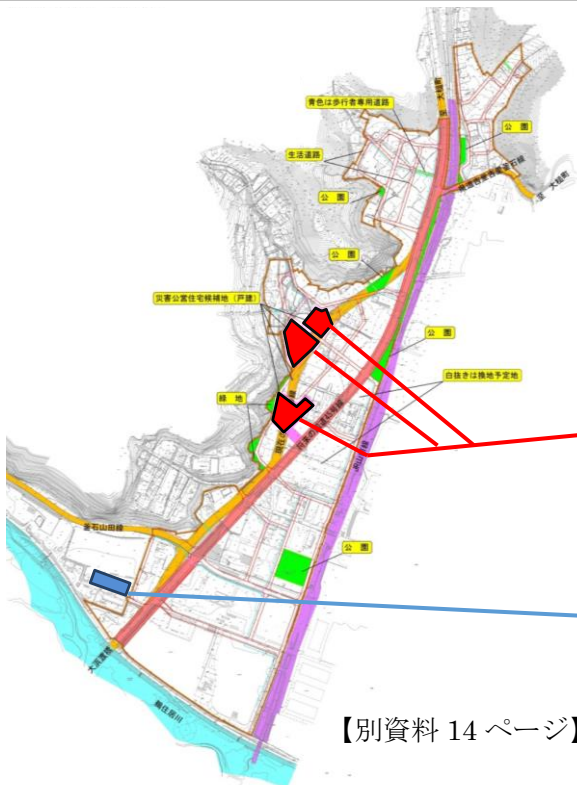
H26 年 4 月説明時の宅地引渡しスケジュール



H27 年 3 月時宅地引渡しスケジュール



災害復興公営住宅について ※状況に応じて変更することがあります。 【別資料 12 ページ】



※現時点での計画であり、今後の手続き等において変更があります。

●片岸地区復興住宅（市営）
戸数：19 戸程度
着工：平成 28 年 12 月
完成・入居期間：平成 29 年 6 月

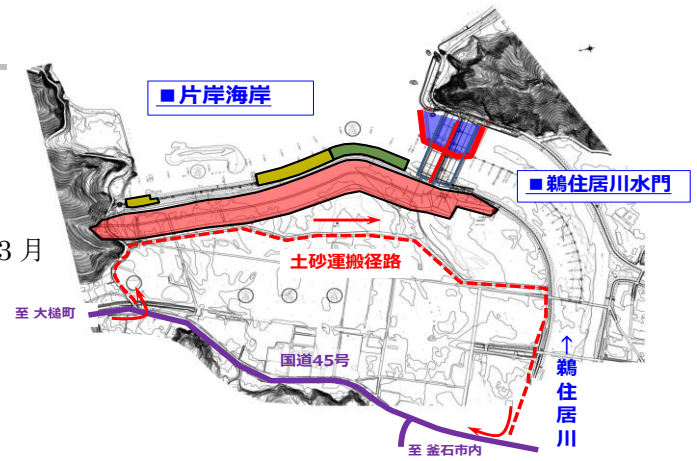
●片岸地区復興住宅（県営）
戸数：17 戸
着工：平成 27 年 12 月
完成・入居期間：平成 28 年度
第 4 四半期



【別資料 14 ページ】

片岸海岸防潮堤及び鵜住居川水門について

- 水門土木工事：平成 26 年 3 月～平成 31 年 3 月
- 水門設備工事：平成 26 年 10 月～平成 31 年 3 月
- 仮締切堤工事：平成 25 年 8 月～平成 27 年 3 月
- 仮締切堤その 2 工事：平成 26 年 1 月～平成 27 年 3 月
- 防潮堤工事：平成 26 年 10 月～平成 30 年 3 月
- ←-----→ 土砂運搬経路



このような意見をいただきました

- ラグビーワールドカップの開催が決まったが、このことで遅れることがないようにしてもらいたい。

住宅再建が遅れることがないように調整を図りながら進めていきたいと思えます。

- マサ土は締め固め直後はいいが、長い年月の間に水を吸ってゆるくならないか。仮置土を見てもマサ土のみ法面が流れている。以前の説明では流れないようにすると言っていたが大丈夫なのか。

マサ土は、当然締め固めを行えば水を吸うことはないですが、仮置分については締め固めを行っておりません。法面は岩ズリで被覆します。なお、名古屋から西はマサ土による造成が多く、品質面における問題はありません。

- 今回 JR 東日本が復旧工事を行った後に三陸鉄道に移管されるわけだが、鵜住居川を渡ったあたりから軌道を上げることはできないのか。近年大雨が降ったとき危ないと感じたことがあった。恋の峠の軌道をディーゼル機関車で上れないこともあった。軌道を上げることにより勾配がゆるくなるメリットもある。大雨のときに危険な状態になることを JR に伝える必要があるのではないか。関連して、7/4 に着工するという報道もあった。せつかく工事をするのであれば地元の声を反映するようにしていただきたい。市の要請でダメな場合でも地元からの要請であれば通る場合もある。



お話にありましたが、まちづくりとの関係も有ります。地元で負担してもらえるのかという話もあります。危なそうだからといって変更するのは難しいです。鵜住居川の渡河部は岩手県とも協議をしながら、また一定のルールもあるので、ルールの範囲内でリスクを見極めながら協議を進めていきたいと思えます。

- 防潮堤工事スケジュールは 31 年 3 月で完成と考えていいか。

契約工期として 31 年 3 月となっていますが、防潮ラインが整うのは 29 年度末を目指しており、撤去工事などの残工事が 30 年度末まで残る形です。

復興事業については、できる限り皆様の期待に応えられるよう進めていきたいと思えます。
1 日も早く工事を完成させたいと思えますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■ 協議会等に関するお問い合わせ

釜石市復興推進本部

TEL : 0193-22-2111 (内線 132)

FAX : 0193-22-9505